

12月定例会 総括 質問

主な質問と答弁

無所属

江口 友子 議員

総合体育館プールで 37歳女性が溺死 監視体制の検証を

問 平成26年10月4日に、37歳の女性が総合体育館温水プールで溺死した。女性に持病や病歴はあったのか。
都市整備部長 ない。
問 女性が何らかの理由で溺れてから発見されるまで2分以上かかっている。一



溺死事故が起きた平塚総合体育館プール

般に、人は溺れて2分で死亡すると言われる。仮に、あと30秒早く発見されたら死なずに済んだかもしれない。管理体制に瑕疵があったのではないかと。都市整備部長 監視体制は適切であった。ただ、結果がこうなってしまった。問 管理責任者である課長や部長は、事故発生を受けて現場に駆けつけたのか。都市整備部長 行ってない。この日は休日、私用で来客があった。適正に対応するよう電話で指示した。問 女性は事故発生の翌

無所属

端 文昭 議員

ツインシティ整備 推進事業について

問 地権者に事業の定款や計画書を渡さないまま得た同意書は無効ではないか。
都市整備部長 その場合、同意書は無効と考える。

問 地権者の個人情報(親族、所属団体、収入等)は何のために、どのような方法で取得したのか。
都市整備部長 事業に必要な最低限の情報である。土地所有者の情報は固定資産税課からも収集した。問 地権者は人権が侵害されたと言っている。個人情報扱いの確認はしたのか。
都市整備部長 当時は個人情報認識がなかった。



相模小学校予定地に立つ組合施行反対ののぼり旗

問 相模小学校予定地の地権者の同意状況を問う。
都市整備部長 人数で約6割、面積で約5割である。問 確認書では土地区画整理

日、亡くなった。翌日は現場に駆けつけたか。
都市整備部長 亡くなったという連絡は受けなかった。問 このプールの監視はどこに委託していたのか。委託料と落札率についても聞きたい。
都市整備部長 委託先は東海体育指導(株)で、今年度の委託料は4709万円、落

札率は99.84%である。問 落札率が99%というのは、談合が疑われてもおかしくない。この数字を聞いて市長はどう思うか。
都市整備部長 適正な入札を行っている。問 市内の小学校のプール監視を受託している業者はどこか。その落札率は。
社会教育部長 すべて東海

体育指導(株)で、今年度の落札率は99.63%、22年度は100%である。問 これは問題だ。管理職は現場に駆けつけさせず業者任せで、管理に瑕疵があったか検証もしない。今も同じ業者にプールの監視を任せているのか。
都市整備部長 東海体育指導(株)がそのまま行っている。

無所属

鈴木 亜紀子 議員

生活困窮者の 自立支援について

問 生活困窮者の自立の促進を図ることを目的とした生活困窮者自立支援法が平

成27年4月から施行される。対象者一人ひとりの自立に向けた包括的な支援を行うため、自立相談支援事業で市役所本館1階に設置される相談窓口の形態を伺う。
福祉部長 主任相談支援員、相談支援員、就労支援員、住宅確保・就労支援員、ホームレス巡回相談員の5職種で、5人の配置を考えている。

問 引きこもりやニートの若者は、親の支援がなくなったとき生活困窮者になるおそれがあるが、支援の対象になるのか。
福祉部長 そういった方の人数は把握していないが、地域から相談があれば出向くことも考えていく。問 市は昨年度から生活保護受給家庭の中学校3年生の子供に対して学習サポートを行っているが、これを

理事業が不調の場合でも平成30年4月の開校を約束しているが履行できるのか。
都市整備部長 区画整理で保留地を取得する方が、直接買収するよりも早くできる。問 補助金の使途と成果が不透明だ。審査に当たってなぜ、準備会から決算書が出されないのか。
都市整備部長 決算報告書の提出は求めている。

声・点字 議会だより

目の不自由な方に、朗読版と点字版の議会だよりを作成しています。ご希望の方は議会局にお問い合わせください。

平成25年度 決算を認定

9月定例会で提案された平成25年度の決算について、10月1日～3日に開催した決算特別委員会の審査の結果を受け、12月定例会初日の本会議で採決を行いました。一般会計・特別会計決算は賛成多数で、病院事業決算は全員異議なく認定しました。なお、一般会計のツインシティ整備推進事業に対しては「組合設立準備会への補助金支出の内容が不明瞭」など、決算の認定に反対する討論がありました。

決算に関する質疑

一般会計・特別会計

災害用備蓄拡充事業

問 災害弱者に配慮したプライベートルームや避難所用間仕切りなどの整備は予定どおり進んだのか。

答 プライベートルームは平成25年度に27セットを購入。各避難所に2台が目標である。間仕切りは25セットを購入。各避難所に4セットを目指している。

高齢者生活支援事業

問 地域での見守りを進める3つの事業があるが、事業の改善点は何か。

答 在宅時緊急通報システムで、押しボタンに加え、24時間体制のセンサーを付け、在宅中に動きがない場合には監視センターが連絡や確認をする体制にした。

中小企業金融支援事業

問 融資を受けた企業の件数と融資先からの評価は。

答 平成25年度の貸付件数は187件、貸付金額は23億円ほどである。前年度と比べて10件、5億円増えしており、借りやすい環境が企業から評価されたと考える。

通学路安全対策事業

問 通学路の安全対策をどのように進めたのか。

答 登下校時に地域の子供を見守ることで、通学路の安全が図られ、防犯対策にもつながった。



国民健康保険事業

問 特定健康診査の受診率の上昇に向けてどのような取り組みをしたのか。

答 親しみやすい愛称への変更や自己負担額の減額、検査項目の拡大などで受診率が向上した。

病院事業

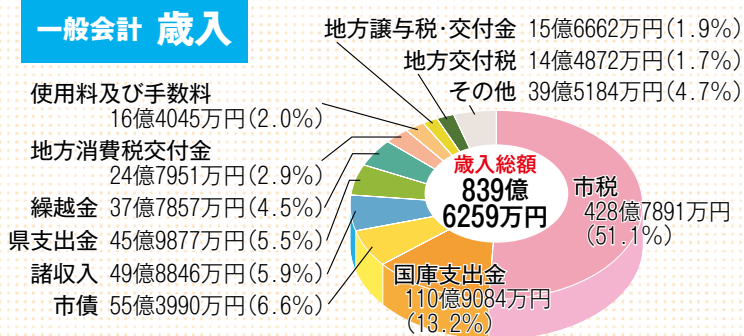
問 高度な医療の提供には医師などの増員が必要だが、医業収益との整合性はとれているのか。

答 医師を増員し費用は約7.6%増加したが、収益は4%の増加に留まった。同程度の伸び率が望ましく、一人当たりの診療密度を上げ、単価を上げている。

決算の特徴

平成25年度の決算額は、前年度と比べ歳入で4.6%、歳出で5.0%の減少となりました。新しい環境事業センターの本格稼働、市民病院新棟や市役所新庁舎の建設など大型事業が進みました。また、安心・安全への対応策や地域経済の活性化など、市民生活の充実に向けた施策を推進しました。

一般会計 歳入



一般会計 歳出

